

「食クラスター連携協議体」の活動について

- 生産者（農業者、漁業者等）や食品加工などの食産業、観光、流通、ものづくり（機械）、IT、建設などの関連産業のほか、研究機関、産業支援機関、金融機関、行政など「食クラスター」の趣旨に賛同する多くの方々が主体的に参画し、連携と協力により、様々な交流を通じた各種事業（プロジェクト）を実施します。
- 事務局や支援機関で構成する全道レベルのサポート体制が、地域と協働で事業（プロジェクト）の発掘や形成、実施を支援します。
- 事業（プロジェクト）の推進にあたっては、経産局や道の食クラスター関連事業予算（経済産業局：約 350 百万円、道：約 758 百万円）や各種の支援施策を活用します。

〔事業内容〕

- ・ 高付加価値化（技術開発、新事業、生産性向上等）に向けた取組
- ・ マーケティング・販路拡大の取組
- ・ 道外からの投資促進（企業誘致など）に向けた取組
- ・ 普及促進のための取組や調査・提言など

〔活動のポイント〕

- 1 **付加価値（利益、儲け）の向上を加速**
付加価値を向上させるための多様で具体的な取組への挑戦を加速し、雇用・所得・人材の確保に結びつけていきます。
- 2 **マーケット志向を強化 → 道外・海外へ！**
消費者ニーズにマッチした高度なマーケティングを進めるとともに、道外市場や中国を始めとする海外市場に向けた新しいセールス・プロモーションに取り組みます。
- 3 **これまでの取組を発展。多くの新事業（プロジェクト）創出に挑戦**
発展（普及）可能性の高い商品・技術・サービス等の発掘・開発・普及を図るとともに、各地域の取組に共通する課題の解決に向けた情報・ノウハウを提供することに取り組むほか、新事業（プロジェクト）の創出にチャレンジします。
- 4 **食 + 関連産業の協働による総合産業化**
食産業と関連産業の相乗的な発展を願う事業（プロジェクト）を推進し、北海道ならではの食の総合産業（一次・二次・三次）の確立に繋がります。
- 5 **地域での展開と全道レベルでの展開**
各総合振興局・振興局ごとに、地域の特性を踏まえた推進体制を整備し、地域の取組にきめ細やかな対応を行うとともに、全道レベルでは地域との連携による機動的で実効性のある取組を進めます。

